

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表: 令和6年3月20日

事業所名 こばんはうすさくら蒲生茜町教室

保護者等数(児童数) 36 回収数 30 割合 87 %

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	30				のびのび活動できる広さがあり過ごしやすい 集団・個別で教室が分かれていてよい 活動用具が置いてあっても十分な広さがある 集団は広いスペース、個別は個室となっており 見合ったスペースが確保されている 広々としていてのびのび過ごせると思う 体を使って遊びをするスペースもあり、家で できない遊びを取り入れてくれて助かる	引き続き、広さを活かした運動やレクレー ションなどの活動を行っていきます。
	2 職員の配置数や専門性は適切であるか	28	1		1	元幼稚園教員、保育士、ST・OTがいて頼も しい 専門の先生方に1対1で見てもらえありがたい いるいるな方たちが適切に関わってくれている 様々な資格の職員が充実している 他事業所と比べ専門職の先生が多く、様々な ことを相談しやすい 個々に合わせて先生方がしっかりと見てくれ ていると思う 希望日を通らず利用日が減ってしまう月が ある	・様々な資格の職員がいるので、今後も様々 な角度からお子さんをみて、支援につなげて いこうと努めていきます。 ・利用希望日については、職員の配置人数に よりご案内できず、ご理解いただくことがありま す。希望日でご案内できるような努めていきま す。
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環 境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業 所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への 配慮が適切になされているか	27		3		適切だと思う 順番で並ぶ印がしてあり子どもにもわかりやす い	引き続き視覚教材も用いて分かりやすい環境 設定をしていきます。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境とな っているか。また、子ども達の活動に合わせた空間 となっているか	30				とてもきれいにできておりと感じている 室内はきれいで水回りも清潔 適切だと思う 換気もきれいで教室もきれいな	引き続き清潔で心地よい環境設定をしていき ます。
適切な支 援の提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析さ れた上で、児童発達支援計画が作成されているか	29	1			面談時の聞き取りがとても丁寧で、計画も細 やかでありがたい 定期的な面談により、保護者や保育所の希望 のヒヤリング・アドバイス並びにこのような活動 内容が成長につながるかの説明を行ってく れている 定期的に面談がありいろいろと共有できあり がたい 面談にて個性のある計画 先生との面談で子どもの目標を一緒に考え、 それに沿って計画されていると思う	引き続き保護者様のニーズや課題を共有し、 より良い支援計画の作成を努めていきます
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラ インの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達 支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、 「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に 必要な項目が適切に選択され、その上で、具体 的な支援内容が設定されているか	28			2	支援内容が立案されていると思う	
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われている か	30				必要な部分を重点的にやっていると思う よく考えてくれている 弱点に対してできるようにその対策を動めても らい、個人に合ったやり方で支援してくれて いる 様々なプログラム組まれていると思う 日々のいろいろな活動や体験をさせてもら い良い刺激になっていると思う	引き続き、支援計画を意識しながらも、お子様 の様子に合った支援を行っていきます
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されて いるか	30				内容を細かく変えて、段階に合わせた活動を していただいている 毎回違ったプログラムやプリントをしていると 思う 複数の先生方に対応してもらい活動内容も多 様 たくさんあり毎回違って子どもも楽しそう 季節を見て感じて作成してと色々工夫してく れている いろいろな活動をしてくれている	引き続き、プログラムが固定化しないよう、努 めていきます
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障 害のない子どもと活動する機会があるか	9	2	4	15	あまりよくわかっていない 今まで通っていて経験がない 幼稚園と併用しているため問題がないと感じ る 保育園訪問の機会を設けて欲しい 機会はなくとも幼稚園に通っているため現状 に不満はない	受け入れ先との調整をおこないながら実施で きるように努力していきたい
10 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明が なされたか	27	3			利用開始時や面談にて説明を受けた 詳しくもらった		
11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提 供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに 基づき作成された「児童発達支援計画」を示しなが ら、支援内容の説明がなされたか	29	1					
12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・ト レーニング等)が行われているか	16	6	1	7	現在は必要がないと思っている 子どもへの声かけや対応の仕方のアドバイス を知る機会が欲しい こぼんだりで、発達に関連する事項が掲載 されているのを目を通している 活動報告シートと送迎時の申し送り子どもの 様子や助言を教えてもらっている 「ペアトレ」としての時間がなくてもいつでも相 談でき、助言をいただいている	日々の連絡帳や、毎月のおたよりを通してアド バイスをさせて頂いておりますが、ペアトレの 時間の確保も検討していきたいです	
13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子ど もの発達の状況や課題について共通理解ができ ているか	29				連絡帳やメモなどでこまめに連絡をくれかつ ついている 個別では詳細な活動内容やアドバイスなどを 利用のついで頂いている 毎回の活動報告書で詳しく報告してくれている 連絡帳や送迎時に様子をうかがえるので理解 できていると思う もう少し子どもの状況を詳しく知りたい 連絡帳に書いて、先生に読みを言えませんが に時間をとり、話を聞いてくれてありがたい 教室の様子を聞いたリポートを確認するのが 楽しみ	引き続き、情報共有を行いながら、共有理解を していきます。	

保護者への説明等	14	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	30				半年に1回の面談で親身になって話を聞いてもらい嬉しく思っている 面談や見学に機会を頂き助かっている 連絡帳で共有できている 定期面談があり助かる	面談時に限らず情報共有を行いながら、随時サポートが行えるようにしていきます。	
	15	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	23	3		4	最近イベント後の懇親会があり参考となった イベント後に懇親会があり情報交換の場がある 保護者会が楽しみ クリスマス会後に交流ができ感謝している 前回の懇親会では他の方と話ができて勉強になった、また、同じ療育に通っている人同士だと安心して話ができると思った 支援のおかげで勉強になっている 行事後に懇親会があり、いろいろな療育を受ける子の悩みを話し合う機会があり、ほかの保護者の話を聞いて参考になる	親子イベント、懇親会の機会を作っていますので、保護者様の交流の場として今後も企画していきます。	
	16	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されているか	30					相談事にはすぐに回答してもらっている 連絡帳を通して見学や相談の希望に迅速に対応してくれる こぼんだよりの就学に関する情報がとても参考になった 面談の時に質問や対策など詳しい話をしている いつでも相談しやすい体制があり感謝している	引き続き、相談しやすい体制、環境作りに努め、迅速に対応するように努めていきます
	17	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	29	1				充分されていると思う	引き続き、しっかり情報伝達していきます
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されているか	29	1				毎月のお便りで活動の様子がよく分かり嬉しい 定期的にお便りももらっている お迎え時や連絡帳で活動の様子を教えてください安心している こぼんだより楽しみにしている ブログ更新楽しく拝見している	引き続き情報発信を様々な形で行うよう努めていきます
	19	個人情報の取扱いに十分注意されているか	28	1	1			自宅付近で個人名が入った紙を紛失された	個人情報に十分に留意していきます
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	16	2	1	11	緊急時になどに保護者がどのような対応をすべきかもよくわからない マニュアルがあるか分からない	緊急時対応、防犯対応、感染症対応のマニュアルをお知らせしていくようにします	
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	14	3	1	12	避難訓練も定期的にされていて子どもにとってとてもいい機会だと思う 実施せれているか分からない	避難訓練の時期に合わせて、保護者の方へ緊急時の連絡方法や事業所での動向についてお知らせしていくようにしていきます	
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしているか	30				とても楽しみにしていて、楽しかったと毎回言いながら帰ってくる 帰ってくる様子を見せられている 成長し面倒くさがることも増えたが、嫌がることなく通所できている 見学した時にたくさん笑顔が見られ先生方と信頼関係が築けていると実感した 休みの時も行きがたがいて、楽しく過ごせているようで安心している 帰る後に活動内容を教えてくれるようになった 「こぼんいこー！」と言って張り切っている 送迎時に泣き出す日もあるが書いてしまえば楽しく過ごせているようで安心している いつも「先生・先生」と通うのを楽しみにしている	引き続き、お子様楽しんで通えるよう努めていきます	
	23	事業所の支援に満足しているか	30				・子ども合わせた支援をして頂き、成長を感じられ大切に支援していると感じ大変満足している ・幼稚園入園後も通所をお願いしたい ・入園前から年少までは集団療育を、年中からは子どもに合った個別療育をしていただけ感謝している ・保育所の先生によく話すようになった、成長したと言われた ・子どもに合ったプログラムをしてきて、成長できていると感じている ・苦手なこともたくさん挑戦させてもらい、見守り、励ましてくれたおかげで成長できていると思っている ・個別と集団それぞれのカリキュラムで受けることができ、成長につながっていると思う ・夏祭りやクリスマス会等の行事の内容が工夫されていてとても良い ・通所中は保護者も自分の時間を過ごせるので、親子ともどもお世話になっている ・手厚く見てくれて助かっている ・まずはコミュニケーションが取れるようになることを希望しておりますが、おかげさまで少しずつ着実に効果が出てきていると感じております。 ・ご支援いただいている内容に全く不満はありません、貴施設サポートを大変心強く感じておりますので、引き続きよろしく願います	引き続き、お子様の成長のために、ご家庭との情報共有、他施設との連携を大切にしていきます。今後ともご理解、ご協力をお願いします。	

601 28 8 53

87%

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和6年3月20日

事業所名 こぼんはうすさくら蒲生茜町教室

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	7	1		曜日によっては多いと感じる時がある ※利用希望日を調整させて頂き、適切な人数で受け入れるよう努めていく。
	2 職員の配置数は適切であるか	4	4	必要に応じて補助の職員が入ってくれる教室間で補い合っている 児童の状況により職員数を増やしている	利用人数と職員数が合っていない、職員数を増やす又は、利用者数を減らし配置数を適切にしていきたい 職員数が少なく利用者の利用日全てが希望通りではない ※人数だけでなく、利用者の支援の度合いも考慮し職員を増やすようにしていく。
	3 生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	7	1		
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	8			
業務改善	5 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	6	2	あった方が良いものなどは上司に伝えるようにしている	決定したことを聞くことが多く話し合って進めることが少ない(時間がない) 広く参画はできていない ※話し合いの時間をつくるようにする。
	6 保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	7	1		
	7 事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	5	3		
	8 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	2	4		
	9 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	5	3		もっとあるべきと感じる
適切な支援の提供	10 アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	8		ミーティングする機会が増え分析が行いやすくなった	空き時間を見つけて行っているため、やりたい時に行えていない ※ミーティング時間が確保できるよう、シフトの調節に努める
	11 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	6	2		
	12 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	8			
	13 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	8		計画書を見る機会が増え意識するようになった	※職員数が多いので計画書を回覧し、全員が目を通すようにしている
	14 活動プログラムの立案をチームで行っている	6	1	個別と集団でのMTGを行っている	集団療育に意見を言っても反映されないことが多い、チームで行っているとはあまり言えない ※お互いの意見を受け入れより良い支援に繋がるように努めていく
	15 活動プログラムが固定化しないよう工夫している	8		その日に来ている子に合った活動を取り入れている 様々な活動をバランスよく取り入れている	
	16 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて児童発達支援計画を作成している	8			
	17 支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	7	1	紙面でも確認できるようになっている	支援開始前の情報が少ない ※送迎の関係もあるが、書類確認だけになることもあるが、しっかり確認できるように務めていく。
	18 支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	6	2	毎日支援終了後振り返りを行い、反省やその日あったことが分かるように記録を残している その日にいない職員にも共有できるように記録し回覧できるようにしている 1週間としての反省点は時間を見つけて聞くようにしている	共有しているが、時間の都合上、支援者全員で振り返りが出来るわけではない ※1週間に1度でも良いので時間を確保に努めていく
	19 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	8			手書きから電子媒体に変えることで振り返りが確認しやすくなるのではないかと
20 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	8				
21 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	5	2			
22 母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	5	1			
23 (医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	3	1	幼稚園や保育所への見学を行い、情報や課題の共有をしている ご家族から聞くようにしている	ご家族からの情報だけでなく連携までは行えていない、足りないと感じる ※他機関との連携を増やしていく	

関係機関や保護者との連携	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	1	3			
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚園)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	7		実際に保育園や幼稚園に行き、その子の課題を見つけ、できるように支援をおこなっている	訪問などで少しずつ増えている	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	3	2			分からないが足りないと感じる ※受け入れ先との調整をおこないつつ実施できるように努めている
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	3	2			受けられるのであれば参加したい
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	1	6			保育所や幼稚園などではなくても、身近なところで兄弟姉妹などの交流活動があってもよいと思う
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	2	4			
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	7		連絡帳などでその日の様子を伝えている 連絡帳や送迎時に行っている	保護者に会えない場合はなかなか難しい ※連絡帳や送迎時で伝えられない場合は電話連絡もしていきたい。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	2	4			保護者への支援方法の伝達を作る機会を設けたい 面談時のアドバイス等は職種によって意見の違いがありうまく伝えられない時がある ※見学の機会を作り、支援方法や様々なアドバイスを伝えるようにしていきたい。
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	5			自分は機会がない	
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	7			自分は機会がない	
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	8			面談以外でも、相談の時間を作るよう心掛けている 保護者と会える時にはできるよう心掛けている	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	6	1		親子イベントの後に懇親会の時間を作り交流してもらっている	進路を決めるのにあたって、先輩の親御さんからそれぞれの学校の様子を聞き取れる会があればよいと思う
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	7				
非常時等の対応	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	8			月1回事業所の様子やアドバイスを載せた手紙を発行している	
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	8				
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	8				
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	2	5			
	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	6	2			
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	7	1		・防災は通報訓練を行い、職員は避難経路確認や防災についての知識を深めている。	避難訓練など定期的に行っていないのでいつ起きても大丈夫なようにしていきたい 年に数回なので、参加できない職員や利用者がいる ※実施報告も含め共有していく。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	7			・アセスメントにて確認をしている。	
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	7			・現状、対象児はいない。	
45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	8					
46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	8				※引き続き、研修を実施し、防止に努めている。	
47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	5			・現状、対象児はいない。		